

最後の一般質問： 市民の声を活かす市政に



政策市民会議国分寺 三葛 敦志

【1. 市財政の現状認識】

Q. 国民健康保険運営の都道府県への移管の影響についてどう考えるか。

A. 市町村では限界と判断。構造の問題だ。

Q. 消費税増税がなければ財政フレームは明らかに行き詰っていたのではないか。

A. 財政フレームはかなり厳しくなる。基金残高も37億円マイナスとなってしまう。

Q. 国分寺駅北口再開発の「費用対効果分析」。

A. まだ出ていない。

【2. 通学路・生活道路の安全性】

Q. 京都府亀岡市の暴走自動車殺傷事故から1年。国立駅北口での児童の死亡事故から2年。第三小学校の西側、孫の湯通りのカーブ。

A. 「児童横断」の立て看板を設置。警察とも相談し、カラー舗装も検討。

Q. 道幅の狭い元町通りについては？

A. 拡張もままならない。

Q. 内藤1・2丁目境の一方通行化は？

A. 一方通行化は、沿道住民の総意が必要。

Q. 地域と話している跡が見えてこない。

Q. 富士本と光町間の道路にポストコーンの設置を検討したらどうか。

A. 道路入り口や広い箇所は設置可。協議する。

Q. 1年前に質問した「スクールゾーン等に関する教育委員会と警察との連携」について。

A. 緊急合同点検を行った。教育委員会事務局も立ち会い、現場で対策を話し合っている。

【3. ごみ有料化の減免手続き】

Q. ごみ有料化の免除手続きの必要書類は必要か？同じ役所の中で発行するもののはずだ。

A. 負担軽減の減免手続きの書類にお金かける批判があり、返還手続きを行う予定。

Q. 手続き漏れがないよう、きちんと対応を。

【4. 市境地域問題】

Q. にしまちプラザ＝複合館の民営化で他市の子どもたちが遊べなくなるのでは困る。

A. 施設の性格にもよる。国・都の補助を受けただかにも左右される。指摘内容は検討する。

Q. 国立駅北口の歩きたばこ問題について。

A. 難しい。国立市の担当者には伝えている。

Q. 「市外」利用料に「隣接市」という種類を。

A. 広域行政・相互連携は必要。西町プラザは立川市も近い。糸口にもしてみたい。

Q. 都市マスタープランでの市境地域の扱い。

A. 市境地域については書いていない。

Q. 3年と言わず、早期の見直しをすべき。

【5. 次期市長選】 投票率向上の取り組み等。

情報は市民財産！ 的確な保護・共有・発信を



公明党 なおの 克

●学校教育ICTへの取り組みについて

問) 子どもたちの成長、人づくりは地域・社会の将来を担う根幹であり、**教育の情報化**は重要なテーマであると考えられるか。

教育長) ICTを活用した教育によって、子どもの力を一層伸ばしていく、これが重要であると基本的に考えている。計画をしっかり立てて、なお整備を進めていく必要はあると認識する。

●情報の伝達について

問) 防災対策について、災害時に避難所や医療施設の位置を検索できる**防災マップ**(アプリ)を無料配布している自治体が増えている。市民の命を守る役割を考えれば、検討すべきでは？

総務部長) 有効性等も十分認識をしている。またハザードマップの電子書籍化は今後予定する。

問) 児童の登下校について、子どもの安全安心のため、**ホームページ**、**一斉送信メール**、**登下校メールシステム**の推進をしていただきたい。

教育次長) 学校間、校長間での情報の共有をし、それぞれのPTAの皆さんにお伝えしていく。

問) 登下校メールシステムは、各学校だけでなく、**学童保育所での設置**でも検討すべきでは？

子ども福祉部長) 保護者会の連合会と御相談をしてみたいと考える。

●情報セキュリティ対策について

問) 市で起きた情報漏洩について、認識や対応が甘い。**条例・対策基準等の変更**、**職員研修の改善**や**セキュリティ監査**を早急に実施すべき。

政策部長) ルール化について、対策基準の中に踏み込んで記載をする。的確な判断に基づく処理がなかった現実を踏まえ、研修のあり方を検討する。監査については、6月に個人情報保護審議会の意見もいただいて、進めていく。

市長) 今回の事態を招いたということで深刻に受けとめている。今後調査の状況を踏まえ、早急に取り組んでまいりたい。

●コンビニにおける証明書等の交付について

問) **コンビニ交付サービス**は、全国のコンビニから住民票の写しや各種税証明などを入手することができる。**市民サービスの向上**、**利便性の向上**、**行政事務の効率化**につながっていく。検討していただきたい。

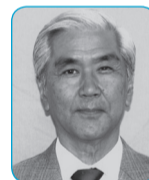
市民生活部長) 検討をしてまいりたい。

●姉妹都市交流について

問) **国際姉妹都市マリオン市**との今後の交流のあり方について、市長の意見を伺いたい。

市長) 経験等も生かしながらい発展させた形でできるように、引き継いでまいりたい。

障がい者の就労支援事業の 確実な継続を



無党派(社民党) 釜我 健二

釜我) 障がい者の就労継続支援B型を担うNPO法人Ohanaを、新町にある寄附用地へ移転させる計画を実現させるには、この用地への道路整備が必要となっている。そのための土地所有者の同意はいただける方向で話がすすんでいると考えてよいのか。

福祉保健部長) 用地課とも連携をしながら、その方向で話し合いをすすめている。

釜我) Ohanaからは用地の整備計画が示されているが、この計画がベースになって整備されてゆくと考えてよいのか。

福祉保健部長) 計画はわかっている。ただ急ぐべきもの、そうでないものがあり、その点を近々すり合わせを行いたいと考えている。

釜我) 道路整備が行われる時には、水道・下水道・電気等も一体的に整備されると考えてもよいのか。

福祉保健部長) 担当部としてはそのように考えているので、今後、庁内での調整をしながらすすめていきたい。

釜我) 大型のビニールハウスの移転先は、日照の関係上、南側が適切と考えるが、市としての考えはどうか。

福祉保健部長) その通りだと思う。設置場所については、6月をメドにすり合わせをしたい。

釜我) それらの整備のために必要な予算は9月議会で補正予算として提案されるべきだと考えるが、市の考えはどうか。

福祉保健部長) 国・都の補助金や交付金の関係もあり、年度内に完成させる必要がある。9月議会というのは妥当だと考えている。

「敬老会」は万全の安全確保で

釜我) 市の「敬老会」の予算が大きく削減されたため、無理な計画の見直しが行われた。その結果、安全上の十分な配慮に欠ける計画となり、多くの方々に迷惑をかけることとなった。市はこのことを十分に反省すべきだと思う。最終的に市としては、「敬老会」は本多公民館ホールで行うと決定したが、その際の安全対策も極めて大切だ。市としての現時点における考え方について伺いたい。

福祉保健部長) 会場は250人定員だが、高齢者であることから200人とし、午前・午後の2回開催で400人定員とし、事前申込制としたい。送迎の車になるべく公民館近くまで来れるよう小金井署と打ち合わせたい。車の待機場場はない旨を周知したい。付添人等に対しては2Fフロアや会議室等を確保してある。

星野市政により財政悪化 及び市民生活が悪化



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野) ◆借金問題について◆市長自身は庁舎建設問題や西武線の立体交差問題で借金増を提案し続けてきた。**歯止めをかけたのは市議会**である。しかも市長はこれから**次期市政に多くの借金を押し付けることになる**。コンクリートからアスファルトへという方針であり、市長退任後に大きな負担が出てくることになる。

◆基金減少が最大の問題◆このことにより、生きがい事業・入浴施設の廃止、保育園・学童保育・小学校給食の民間委託、公民館・図書館費の削減、就学援助の縮小、団体への補助金削減、国民健康保険税の増税、ごみの有料化など**市民負担を押し付けてきた**。しかも**自治基本条例違反も繰り返してきた**。その反省はあるのか。

市長) 歳入が伸び悩み、生活保護費などの扶助費が増え、事業の見直しは進めなければならない。ただその**進め方は反省すべき点もある**。

幸野) ◆国分寺駅北口再開発◆が**基金減少の最大の原因**だが、現在の進行状況から考えると後戻りは難しくなってしまった。しかし、**本来なら次期市長が進めるべき問題**であり、**辞める市長がここまで進めて退任するのは無責任だ**。

市長) 私の後を引き継いでいただく方にも、私が進めてきた方式で引き継いでいただいて、多少の修正はあるにせよ、もう**ここまで来れば大きな変更もなく進まざるを得ないだろう**。

幸野) 現在の計画は、前回の市長選挙時の計画より事業費、市の負担ともに大きく膨らんでおり、**市民の信託を得ていない計画**だ。議会も情報を隠され続け、全会一致の付帯決議も守られていない。完了時までの財政フレームも意図的に粉飾してきた計画であり、**前提情報としては重大な問題、欠陥があったこと**を指摘する。

市長) 歳入の伸び悩み、扶助費の伸びなどの状況変化によって影響が出た。粉飾ではない。

幸野) ◆臨時財政対策債◆は問題あるが、**地方交付税の代替である以上、借りざるを得ない**。

次ページに続く▶